

新聞広告賞

フェムケアプロジェクト×国際女性デー企画「知るって、やさしい一歩！」

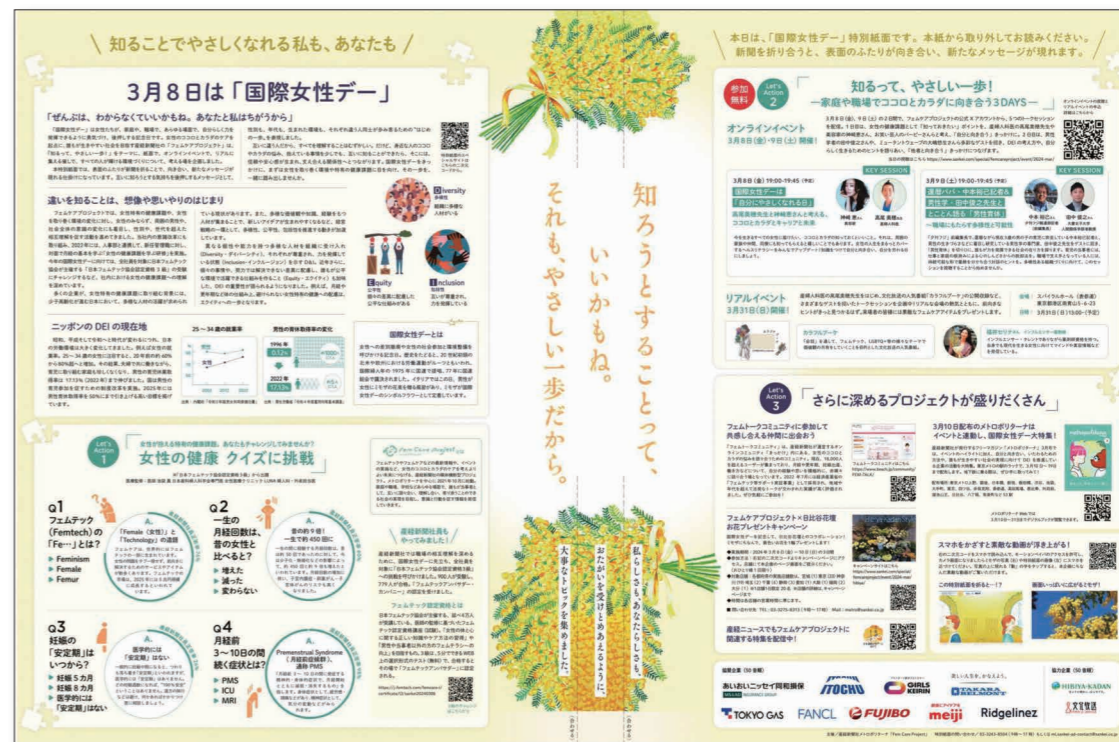
産経新聞東京本社 メディアビジネス局



2024年3月8日付



線に沿って折った状態



3月8日付



2023年6月20日付



線に沿って折った状態

- 広告主 —— あいおいニッセイ同和損害保険、伊藤忠商事、JKA、タカラベルモント、東京ガス、ファンケル、富士紡ホールディングス、明治、Ridgelinez
- 掲載状況 —— 2023年6月20日/全15段、2024年3月8日/ラッピング全60段、全45段、雑報、カラー
- 広告活動 —— ウェブサイト、X (旧Twitter)、イベント (東京都港区、ラジオ公開収録)、プレゼントキャンペーン、雑誌『メトロポリターナ 2024年3月号』
- 企画 —— 産経新聞東京本社
- 制作 —— ADKクリエイティブ・ワン、ADKマーケティング・ソリューションズ、シフトキー

- 企画の概要と選定理由  
3月8日の国際女性デーを中心に、編集局と連動し女性特有の悩みに関する相互理解を促すプロジェクトを実施した。国際女性デーのシンボルフラワーであるミモザをあしらった紙面を制作し、題字も花の色に合わせて変更した。お互いに背を向ける男女が描かれたラッピング紙面を折ると、2人が向き合い「ぜんぶは、わからなくていいかもね。あなたと私はちがうから」というメッセージが表れるクリエイティブを展開。男性をはじめ読者に広く自分事として捉えてもらうメッセージを発信した。多くの広告主から賛同を得て、SNSやフリーマガジン、イベントと連動し、テレビやラジオで取り上げられるなど大きな反響を呼んだ。新聞社の総合力を結集し、多様な生き方への関心と共感を広げた広告活動として高く評価された。

新聞広告賞

ハコブトチギ

下野新聞社 ビジネス局

**ハコブトチギ**  
物流から考える  
とちぎの未来

**「ハコブトチギ～物流から考えるとちぎの未来～」**  
2024年4月、トラックドライバーの時間外労働が制限され、現状の物流システムの維持が困難になるといわれています。それは物流のシステムで生活が成り立っている私たちの生活に大きな影響を与えることも意味します。下野新聞社は「ハコブトチギ～物流から考えるとちぎの未来～」と題し、私たちの生活に欠かすことのできない「物流」に焦点を当てた紙面を本年10月9日「トラックの日」より、シリーズ展開していきます。物流業界について私たちが知るべきこと、そして私たちが出来ることを紙面を通して考えていきたいと思います。企画・制作 下野新聞社営業局

**ハコブトチギ AR**  
右の二次元コードをスキャンしてスマートフォンアプリ STYLTY をインストール。アプリをインストール後、再度二次元コードをスキャンすると AR を鑑賞することができます。  
※アプリ・コンテンツのダウンロードに通信料がかかります。  
※ご利用の機種によって視聴できない場合がございます。

2023年10月9日付

**注目の若手女性ドライバーに迫る**

私たちはハコブトチギを応援しています

足利銀行 alpha create 北関東広運株式会社  
SAHAE 株式会社サンコー 山見物流倉庫株式会社 トヨダL&F 株式会社トヨダL&F 株式会社トヨダL&F  
トヨダL&F 株式会社トヨダL&F

2023年12月5日付

**若い世代から見る物流の2024年問題**

共に物流を看見よう

株式会社トヨダL&F 株式会社トヨダL&F

2024年3月6日付

**集荷から検査、保管を一貫で担う米物流の中核**

私たちはハコブトチギを応援しています

とちぎのあめ、食べよう

3月28日付

**ハコブトチギタイアップイベント**

地域をつなぎ、地域とつながる

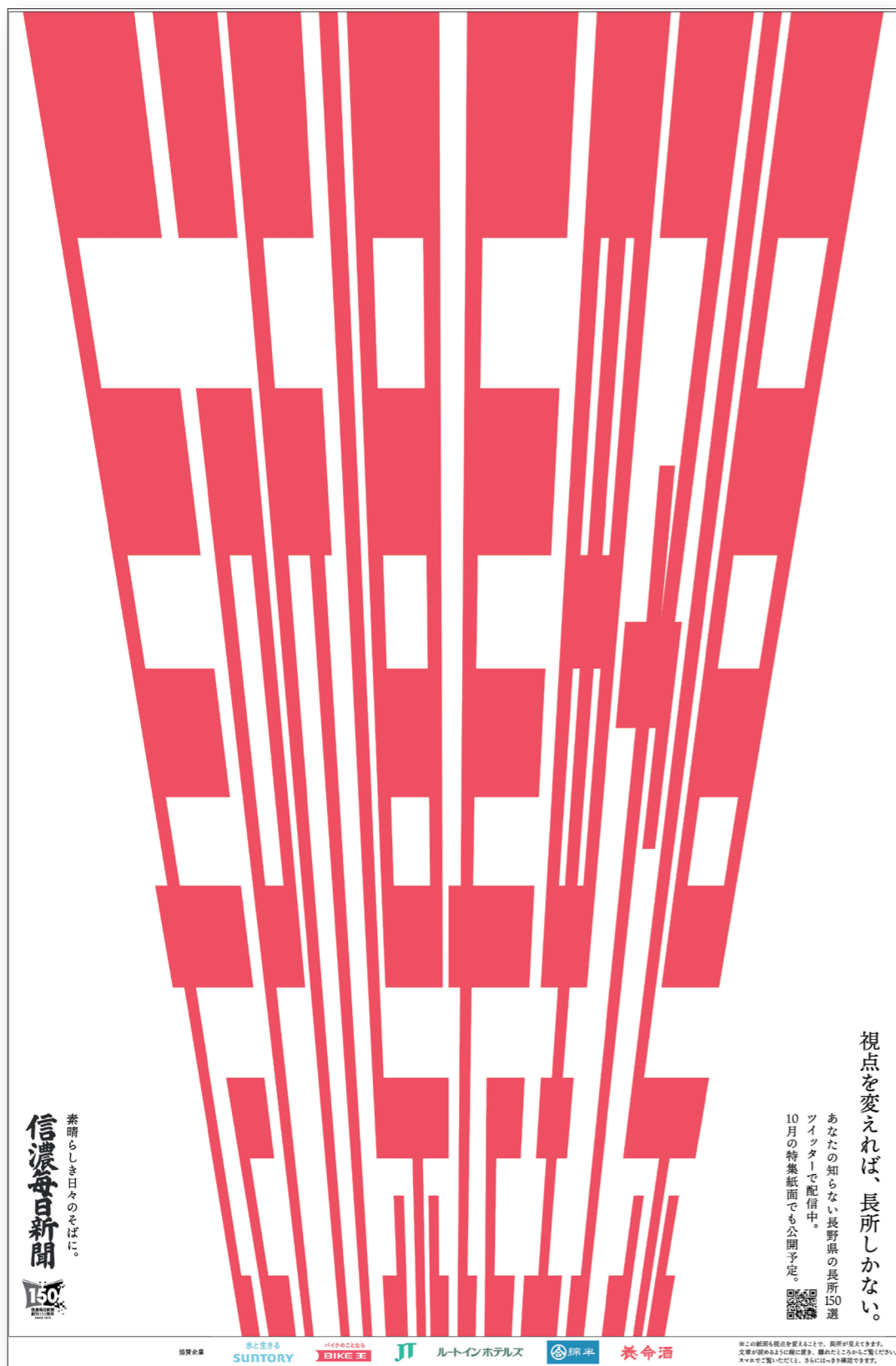
5月28日付

- 広告主——東日本高速道路、栃木県トラック協会、全国農業協同組合連合会栃木県本部、足利銀行、アルファ・クリエイト、川崎運輸、北関東広運、サカエ商事、サンコー、山見物流倉庫、栃木県木材業協同組合連合会、栃木日野自動車、トヨダL&F栃木、物流ネットワーク栃木協同組合、誠商事
- 掲載状況——2023年10月9日、12月5日、2024年1月17日、3月6日、3月28日、4月10日、5月28日、5月31日/全15段×2(表裏)、全15段、カラー
- 広告活動——ウェブサイト
- 企画——下野新聞社
- 制作——Afro&Co. Inc.、Shiho So.、highlights inc.、SandS. &d.、アルファ・クリエイト、栃木ダイレクトコミュニケーションズ
- 扱い——下野新聞社、栃木オリコミ・センター

- 企画の概要と選定理由  
10月9日「トラックの日」の特集を皮切りに、物流問題に関する理解促進を図る広告企画を展開した。武骨なイメージの運送業や倉庫業などのイメージを払拭するため、柔らかくポップなイラストで物流を表現した全面広告を掲載。インフルエンサーでもある現役女性ドライバー「トラックめいめい」さんを起用した広告展開は、SNSで多くの注目を集め、反響は栃木県外にも及んだ。ほかにも、消費者にとって身近な食や宅配ボックスを取り上げた特集紙面による情報発信、ドライバー向けの「癒やし(フットケア等)」提供、子ども向けの見学・体験イベントを実施。これまで取引がなかった企業からも協賛を得て、物流業界をめぐる現状と課題を県民に伝え、関心を高めた広告企画として高く評価された。

長野県長野県～素晴らしき日々のそばに～

信濃毎日新聞社 マーケティング局



視点を変えれば、長野しかない。  
あなたの知らない長野県の長野150選  
ツイッターで配信中。  
10月の特集紙面でも公開予定。

2023年7月5日付



10月18日付



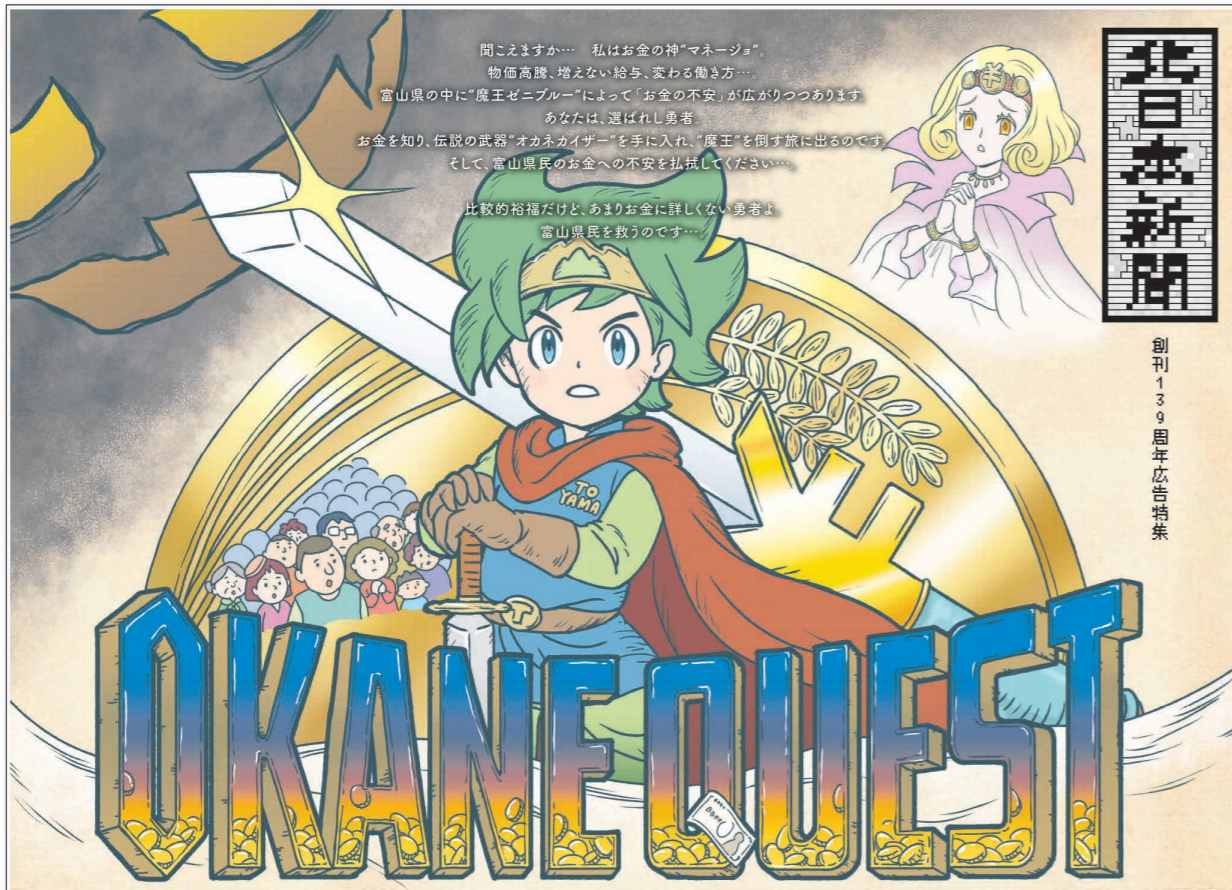
そば新聞

- 広告主 —— サントリーホールディングス、日本たばこ産業、綿半ホールディングス、養命酒製造、筑摩書房、プリオホールディングス、日本電気、ホクト、長野日産自動車、水野美術館、シュエマート、ルートインジャパン、バイク王&カンパニー
- 掲載状況 —— 2023年7月5日、10月18日/二連版全30段、雑報、8月12日、8月26日、9月1日、9月29日、10月7日、10月11日、10月15日/雑報、カラー
- 広告活動 —— OOH、インターネット、SNS、「そば新聞」を制作
- 企画 —— 信濃毎日新聞社、電通
- 制作 —— 電通、電通クリエイティブフォース、CPU direct、電通クリエイティブキューブ、マテリアル、アートファクトリー、ナカチカ、ビー・クス、長野県信州そば協同組合
- 扱い —— 電通、ながのアド・ビューロ
- 企画の概要と選定理由 —— 創刊150周年を迎え、長野県の魅力を県内外に発信し、再発見してもらうキャンペーンを実施した。読者から募った長野県の長所計150点を、紙面やSNSと連動して発信。寄せられた長所を食用インキで印字した「そば新聞」を限定販売し、わずか1日半で完売する売り場もあるなど、好評を博した。創刊日の7月5日には「視点を変えれば、長野しかない。」のメッセージとともに、判読しづらい長体文字を使用した縦長の見開き広告を制作し、離れて下から読むと「長野県長野県」という文字が浮かび上がるクリエイティブを掲載した。新聞社の企画力と表現力を生かし、協賛社とともに地域への愛着と誇りを高めた広告活動として高く評価された。

新聞広告賞

北日本新聞創刊139周年広告特集 OKANE QUEST

北日本新聞社 メディアビジネス局



創刊139周年広告特集

聞こえますか… 私はお金の神“マネージ”  
物価高騰、増えない給与、変わる働き方…  
富山県の中に“魔王ゼニブルー”によって“お金の不安”が広がっています  
あなたは、選ばれし勇者  
お金を知り、伝説の武器“オカネカイザー”を手に入れ、“魔王”を倒す旅に出るのです  
そして、富山県民のお金への不安を払拭してください…  
比較的裕福だけど、あまりお金に詳しくない勇者  
富山県民を救うのです…



START CONTINUE

お金の先にある  
幸せを探しに

富山県民の「お金の不安」を払拭する  
富山県民の「お金の不安」を払拭する  
富山県民の「お金の不安」を払拭する

NISA デビュー応援キャンペーン. Includes details about NISA investment, cashback offers (up to 2,000 yen), and application information. Text: 'いざ、NISAの城へ。', '期間中に北陸銀行でNISA口座またはつみたてNISA口座を新規開設し、投資信託をご購入・ご契約のお客さまへ!', '最大2,000円キャッシュバック!', 'NISA口座で投資信託購入額の最大10万円以上', 'つみたてコース', 'つみたてコース', '現金1,000円キャッシュバック!', 'WEBサイトから', 'アプリで開設OK!', '期間: 2023年8月31日(金)まで', '投資信託購入期間: 2023年9月29日(金)まで'.

富山銀行 OPEN CAMPUS 2023. Includes information about Tomitani's 2-year program, insurance services, and contact numbers. Text: '富山銀行 OPEN CAMPUS 2023', 'Tomitani 確かな学びの2年間', '保険のことなら富山銀行', 'とやま保険プラザのポイント!', '富山銀行'.

富山県民の「お金の不安」を払拭する. Includes information about financial services and insurance. Text: '富山県民の「お金の不安」を払拭する', '富山銀行'.

富山銀行. Includes information about financial services and insurance. Text: '富山銀行', '富山県民の「お金の不安」を払拭する'.

富山県民の「お金の不安」を払拭する. Includes information about financial services and insurance. Text: '富山県民の「お金の不安」を払拭する', '富山銀行'.

- 広告主 — 北陸銀行、東芝、YKK、JA 共済、富山県民共済など 35 社・団体
- 掲載状況 — 2023 年 8 月 1 日 / 全 30 段、別刷り (16 ページ)、カラー
- 広告活動 — 金融機関による小学校での出前授業
- 企画 — 北日本新聞社メディアビジネス局
- 制作 — スカインテック
- 扱い — スカインテック、北日本新聞開発センターほか

● 企画の概要と選定理由  
2024年1月の新NISA制度開始前に、富山県民の金融に関する知識が十分ではないという調査結果を踏まえ、金融リテラシーを高める特集紙面を発行した。往年のロールプレイングゲームの世界観を想起させるクリエイティブで読者の興味を引き、県民のお金にまつわるデータや専門家へのインタビューを通じて主人公とともに金融知識を高めていく物語を創作。物価高騰や低迷する賃金など全国で抱える問題を取り上げ、幅広い知識を習得できる構成とした。営業活動で使いたいと金融機関から紙面提供の依頼があり、小学校では出前授業の教材として活用されるなど大きな反響を呼んだ。例年の周年企画を上回る協賛を得て、金融教育という難しいテーマを親しみやすく伝えた広告活動として高く評価された。

